



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	GFYプロジェクト	階数	地上2F
建設地	横浜市中区山下町279番25	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	2,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、飲食店、集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 竣工	評価の実施日	2019年4月4日
敷地面積	4,390 m <sup>2</sup>	作成者	川田工業株式会社 岡田 広司
建築面積	1,440 m <sup>2</sup>	確認日	2019年4月4日
延床面積	2,097 m <sup>2</sup>	確認者	川田工業株式会社 岡田 広司



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 89% (164 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の: 89% (164 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+: 89% (164 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.5

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ・高効率な設備機器の導入、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。	<b>その他</b> ・特になし	
<b>Q1 室内環境</b> ・全館禁煙を実施している。	<b>Q2 サービス性能</b> ・耐用年数の長い内装材・設備機器の採用により、建物の耐用性の向上に配慮している。 ・階高を高く確保することで、設備の更新性に配慮している。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> ・屋上への積極的な建物緑化により、生物環境の創出や温熱環境の向上に配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> ・断熱性の高い材料を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・O Aフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、省資源化に配慮している。 ・躯体と仕上材の分離が容易であり、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・高効率な設備機器の採用によりCO <sub>2</sub> の削減に配慮している。 ・駐車場の確保や出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



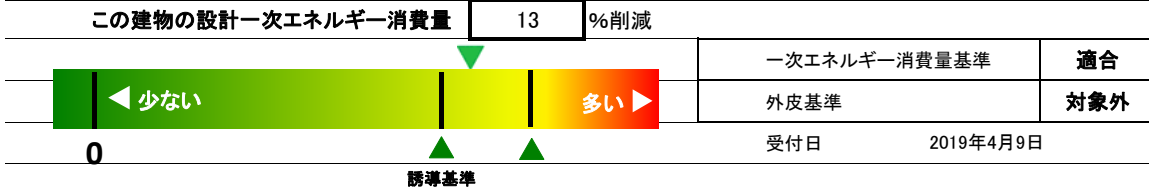
### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **GFYプロジェクト**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **2**

##### ■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



##### ■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

・①断熱性の高い材料を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 **2**

##### ■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

・⑪全館禁煙を実施している。

##### ■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **3**

##### ■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

・⑯耐用年数の長い外装・内装仕上げ材を使用している。

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **1**

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.3  
GFYプロジェクト

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.3

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>					-		-			<b>2.4</b>
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.40</b>		-			<b>2.6</b>
<b>1 音環境</b>				<b>2.6</b>	0.15	-	-			<b>2.6</b>
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-			-
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-			-
1 開口部遮音性能				3.0	0.95	-	-			-
2 界壁遮音性能				3.0	0.05	-	-			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-			-
1.3 吸音				1.0	0.20	-	-			-
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.1</b>	0.35	-	-			<b>2.1</b>
2.1 室温制御				3.2	0.50	-	-			-
1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.40	-	-			-
2 外皮性能		快適・働きやすさ	健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	4.0	0.23	-	-			-
3 ソーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.37	-	-			-
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-			-
2.3 空調方式				1.0	0.30	-	-			-
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.0</b>	0.25	-	-			<b>3.0</b>
3.1 昼光利用				3.0	0.47	-	-			-
1 昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-			-
2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-			-
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	1.00	-	-			-
3.2 グレア対策				-	-	-	-			-
1 昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-			-
3.3 照度				-	-	-	-			-
3.4 照明制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.53	-	-			-
<b>4 空気環境</b>				<b>3.1</b>	0.25	-	-			<b>3.1</b>
4.1 発生源対策				3.0	0.50	-	-			-
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	1.00	-	-			-
4.2 換気				2.0	0.30	-	-			-
1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	0.50	-	-			-
2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気環境	-	-	-	-			-
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気環境	1.0	0.50	-	-			-
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-			-
1 CO <sub>2</sub> の監視		快適・働きやすさ	⑪空気環境	-	-	-	-			-
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気環境	5.0	1.00	-	-			-
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-			<b>3.1</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.8</b>	0.40	-	-			<b>2.8</b>
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-			-
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-			-
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-			-
3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性				2.9	0.30	-	-			-
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.09	-	-			-
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.03	-	-			-
3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.88	-	-			-
1.3 維持管理				2.5	0.30	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.50	-	-			-
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.2</b>	0.30	-	-			<b>3.2</b>
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-			-
1 耐震性		防災	⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能		防災	⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				4.0	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.10	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2 給排水・衛生設備		防災	⑰信頼性	2.0	0.20	-	-			-
3 電気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
4 機械・配管支持方法		防災	⑰信頼性	4.0	0.20	-	-			-
5 通信・情報設備		防災	⑰信頼性	2.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.3

GFYプロジェクト

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.3

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		<b>3 対応性・更新性</b>				<b>3.3</b>	0.30	-	-	<b>3.3</b>
3.1 空間のゆとり				<b>4.1</b>	0.30	-	-	-		
1 階高のゆとり				5.0	0.13	-	-	-		
2 空間の形状・自由さ				4.0	0.87	-	-	-		
3.2 荷重のゆとり				<b>3.0</b>	0.30	-	-	-		
3.3 設備の更新性				<b>3.0</b>	0.40	-	-	-		
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	-		
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	-		
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-		
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-		
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	-		
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	-		
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30	-	-	<b>1.5</b>		
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑧生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	1.0		
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-	2.0		
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>				<b>1.5</b>	0.30	-	-	<b>1.5</b>		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	1.0	0.50	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑪敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-		
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-	<b>3.1</b>		
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-	<b>3.2</b>		
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-	5.0		
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	2.6	0.50	-	-	2.6		
4 効率的運用				<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>		
集合住宅以外の評価				<b>3.0</b>	1.00	-	-	-		
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
集合住宅の評価				-	-	-	-	-		
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-		
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-		
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-	<b>3.0</b>		
<b>1 水資源保護</b>				<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>		
1.1 節水				<b>4.0</b>	0.40	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				<b>3.0</b>	0.60	-	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-		
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>				<b>3.0</b>	0.60	-	-	<b>3.0</b>		
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.11	-	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.22	-	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.22	-	-	-		
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>				<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>		
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				<b>3.0</b>	0.70	-	-	-		
1 消火剤				-	-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	-		
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-		
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-	<b>3.1</b>		
<b>1 地球温暖化への配慮</b>				<b>3.4</b>	0.33	-	-	<b>3.4</b>		
<b>2 地域環境への配慮</b>				<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>		
2.1 大気汚染防止				<b>3.0</b>	0.25	-	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善				<b>3.0</b>	0.50	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				<b>3.0</b>	0.25	-	-	-		
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-		
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-		
3 交通負荷抑制				5.0	0.25	-	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25	-	-	-		
<b>3 周辺環境への配慮</b>				<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				<b>3.0</b>	0.40	-	-	-		
1 騒音				3.0	1.00	-	-	-		
2 振動				-	-	-	-	-		
3 悪臭				-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				<b>3.0</b>	0.40	-	-	-		
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-		
2 砂塵の抑制				-	-	-	-	-		
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-		
3.3 光害の抑制				<b>3.0</b>	0.20	-	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	-		
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-		

# CASBEE<sup>®</sup>横浜 | 評価結果 | 31-003



CASBEE横浜2017年版v.1.3

GFYプロジェクト

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.3

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目	重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
	<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
上記以外の重点項目								
<事務所用途>								
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	1.0	-	-	-	-	
<住宅用途>								
健康と安心								
1 化学汚染物質の対策		健康・安心 ⑥健康対策	-	-	-	-	-	
2 適切な換気計画		健康・安心 ⑥健康対策	-	-	-	-	-	
3 結露・カビ対策		健康・安心 ⑥健康対策	-	-	-	-	-	
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心 ⑦防犯対策	-	-	-	-	-	